

平成22年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
 兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会  
 3日目:平成22年5月29日(土)  
 会場:三洋電機体育館・大垣商業高校

## 男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	美濃加茂	109	$\begin{bmatrix} 32 - 9 \\ 29 - 15 \\ 35 - 18 \\ 13 - 28 \end{bmatrix}$	70	加納	小池匡弥・田中昭博
Bブロック 決勝	中津川工	91	$\begin{bmatrix} 14 - 19 \\ 25 - 18 \\ 19 - 14 \\ 17 - 24 \\ 16 - 13 \end{bmatrix}$	88	岐阜農林	松野瑞穂・清水潤
Cブロック 決勝	富田	87	$\begin{bmatrix} 19 - 11 \\ 25 - 14 \\ 20 - 10 \\ 23 - 23 \end{bmatrix}$	58	岐南工	室谷伸治・石川光徳
Dブロック 決勝	岐阜総合	77	$\begin{bmatrix} 15 - 11 \\ 28 - 14 \\ 18 - 6 \\ 16 - 14 \end{bmatrix}$	45	斐太	増田博徳・長屋貴
決勝リーグ	美濃加茂 (1勝)	123	$\begin{bmatrix} 26 - 16 \\ 41 - 7 \\ 32 - 19 \\ 24 - 16 \end{bmatrix}$	58	中津川工 (1敗)	大江裕之・棚橋英一

美濃加茂はオールコートマンツーマン、中津川工はハーフコートマンツーマンでスタートする。立ち上がりから両チームとも速い攻撃で、点の取り合いとなる。美濃加茂は高橋のインサイドと中村のジャンプシュート、さらにスティールからの速攻で次々にシュートを決める。中津川工も纏纏のシュートで対抗する。第1ピリオドは、美濃加茂が26-16とリードする。

第2ピリオドに入っても、美濃加茂は激しいディフェンスから、小園井、中村、斎藤の確実なシュートで一気に点差を広げていく。中津川工も反撃を試みるが、シュートまで持ち込むことができない。前半を終わって、美濃加茂が67-23と大きくリードして試合の主導権を完全に奪う。

第3ピリオド、美濃加茂の攻撃は緩まず、長身センター 国本、范がインサイドを支配して、得点を伸ばす。中津川工も森が3連続の3点シュートを決めるも、点差を縮めることはできない。

第4ピリオド、美濃加茂はベンチメンバーを全員出場させる余裕を見せ、最後は123-58と大差で勝ち、決勝リーグ1勝目をあげた。中津川工は今井、森の3点シュートで反撃を図るが、相手のパワー、スピード、高さの前に屈した。(林 紗規子)

決勝リーグ	富田 (1勝)	75	$\begin{bmatrix} 25 - 16 \\ 14 - 18 \\ 17 - 11 \\ 19 - 17 \end{bmatrix}$	62	岐阜総合 (1敗)	相宮俊郎・廣瀬卓哉
-------	------------	----	--	----	--------------	-----------

両チームハーフコートマンツーマンでスタートする。富田は、ディフェンスをよく頑張り、チーム全員で次々と得点していく。対する岐阜総合は 小西がドライブとミドルシュートで応戦する。第1ピリオド終盤、富田は 真里谷が3回目のファウルでベンチへ下がり苦しい展開となるが、交代して入った 石田がインサイドプレイを頑張り、25-16とリードを奪う。

第2ピリオド、岐阜総合はハーフコートマンツーマンとゾーンディフェンスを巧みに変えながら追い上げる。稲葉の3連続3点シュート 浅野のインサイドプレイなどで得点を伸ばす。富田はディフェンスを2-3ゾーンに変え、相手の追い上げをしのぎ、小椋の3本の3点シュートなどで、5点リードを保ち前半を折り返す。

第3ピリオド、互いにディフェンスを頑張り、得点の動かない時間が続くが、富田は 石田、真里谷がディフェンスリバウンドを確実にとり、さらに 真里谷がオフェンスリバウンドからの得点を決め、少しずつリードを広げていく。56-45と富田が12点リードで最終ピリオドに入る。

第4ピリオド、富田は 真里谷がゴール下で加点すると、対する岐阜総合も 島村の3点シュート、松岡のジャンプシュートで応戦する。最後まで富田は冷静にゲームをコントロールし、75-62で決勝リーグ1勝目をあげた。岐阜総合もディフェンスからの速攻で必死の反撃をしたが、追い上げる事ができなかった。(林 義貴)

## 女子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜女子	125	$\begin{bmatrix} 36 - 4 \\ 29 - 11 \\ 30 - 9 \\ 30 - 4 \end{bmatrix}$	28	中津商	瀬川雄一郎・森久美子
Bブロック 決勝	高山西	53	$\begin{bmatrix} 12 - 13 \\ 4 - 12 \\ 25 - 6 \\ 12 - 14 \end{bmatrix}$	45	土岐商	岩永英夫・林 義貴
Cブロック 決勝	長良	69	$\begin{bmatrix} 19 - 12 \\ 18 - 13 \\ 18 - 10 \\ 14 - 22 \end{bmatrix}$	57	可児	小泉純子・川上亮輔
Dブロック 決勝	県岐阜商	79	$\begin{bmatrix} 16 - 11 \\ 18 - 14 \\ 25 - 9 \\ 20 - 22 \end{bmatrix}$	56	岐阜総合	高橋英彦・津田健介

決勝リーグ	岐阜女子 (1勝)	95	$\begin{bmatrix} 30 - 2 \\ 18 - 14 \\ 20 - 13 \\ 27 - 11 \end{bmatrix}$	40	高山西 (1敗)	小森邦弘・宮崎泰彦
-------	--------------	----	---	----	-------------	-----------

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。開始早々、高山西 田口がジャンプシュートを決めるが、その後岐阜女子の激しいディフェンスを攻めることができない。対する岐阜女子は 松原の3点シュート、杉浦のポストプレー、鐘ヶ江のジャンプシュートなどで着実に加点し、結局高山西は9分間ノーゴールと完全に押さえ込まれ、30-2で終了する。第2ピリオド、岐阜女子は 東方のドライブや 佐々木の飛び込んでのゴール下シュートなどで得点する。高山西もようやく硬さがとれ 張のゴール下、岩畑、岩出の3点シュートなどで一進一退となるが、第1ピリオドの得点が大きく響き、48-16と岐阜女子が大量リードで前半を折り返す。

第3ピリオドに入っても岐阜女子は 杉浦がリバウンドを確実にゴール下シュートに結びつけ得点を伸ばしていく。高山西も 張が頑張るが得点がなかなか伸びず、68-29で終了する。第4ピリオド、岐阜女子は 森澤、野原などが速攻からレイアップを確実に決め、結局95-40で勝利し決勝リーグ1勝目をあげた。(吉福 司)

決勝リーグ	県岐阜商 (1勝)	82	$\begin{bmatrix} 19 - 6 \\ 14 - 21 \\ 22 - 7 \\ 27 - 19 \end{bmatrix}$	53	長良 (1敗)	角平和優・名越龍男
-------	--------------	----	--	----	------------	-----------

両チームともマンツーマンでスタート。互いに相手の激しいディフェンスに阻まれ、思うように得点できない。県岐阜商は 清水のインサイドプレーが決まってからシュートのリズムがよくなり、松尾、吉野の得点でリードを奪う。長良は 今尾、中島のスティールから得点するが、インサイドを抑えられ、点数が伸びない。第1ピリオドは県岐阜商が19-6とリードする。

第2ピリオド、県岐阜商はアウトサイドシュートがことごとく外れ、途中からはフリースローによる得点のみとなる。その機に長良はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、早いトランジションから 服部、大野らがシュートを決め、一時は3点差まで追い上げる。前半は、県岐阜商が33-27とリードして折り返す。

第3ピリオド、県岐阜商は力強いマンツーマンディフェンスで守りきり、池田、松尾、清水が次々にシュートを決め、リードを広げていく。長良はガードの 中島、吉田が4ファウルでベンチに下がり、苦しい展開となる。

第4ピリオド、県岐阜商は終始リバウンドを制し、攻撃の手を緩めず、土屋、清水、松尾のシュートで得点を伸ばして82-53で勝利し、決勝リーグの1勝目をあげた。長良も最後まで諦めず積極的に攻め、服部のジャンプシュート、今尾、大野の3点シュートなどで追い上げを図るが、及ばなかった。(中田真由美)